

令和3年6月10日開会

令和3年第2回東松島市議会定例会

会派代表質問通告書

東松島市議会

《 会派代表質問 目次 》

令和3年第2回定例会

順位	会派名 代表氏名	件	名	頁
第1位	松桜会 代表 小野 惠章	1	所信の令和3年度における施策の具体的な取組を問う	2
第2位	清新会 代表 阿部 勝徳	1	市政執行について伺う	3、4
第3位	自公・清風 代表 土井 光正	1	新型コロナウイルス感染症に係る対応について問う	5
		2	第2次総合計画後期基本計画の具現化を問う	6
		3	5つのまちづくりの方向性を問う	7、8

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>松 桜 会</p> <p>代 表</p> <p>小 野</p> <p>惠 章</p>	<p>1. 所信の令和3年度における施策の具体的な取組を問う</p>	<p>市政執行の所信表明において、「東松島市第2次総合計画後期基本計画」の具現化を基本に、3つの基本理念を持ち、5つのまちづくりの方向性を示されている。令和3年度のそれぞれの施策の具体的な取組を伺う。</p> <p>(1)「産業と活力のある住みたくなるまち」について</p> <p>①令和の果樹の花里づくりの実現への令和3年度施策の展開と具体的な未来像について伺う。 また、残された被災跡地の活用をどのように取り組むのか。</p> <p>②総合的な産業祭とは。また、その思いは。</p> <p>③具体的な観光振興策を伺う。</p> <p>④移住・定住の促進に向けた具体策は。</p> <p>(2)「子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち」について</p> <p>①子供を産み育てるサポート体制の充実とは。</p> <p>②地域包括支援センターの充実をどのように図っていくのか。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の対応と市民の健康で安心な暮らしをどのように守っていくのか。</p> <p>④地区自治会活動に係る交付金及び市民センターの指定管理の方向性について。</p> <p>(3)「次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち」について</p> <p>①新たな学力向上対策の取組は。</p> <p>②学校施設、生涯学習施設及び運動体育施設整備の令和3年度の計画について。</p> <p>③大規模なスポーツ大会誘致の見込みについて。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>清新会</p> <p>代表 阿部 勝徳</p>	<p>1. 市政執行について伺う</p>	<p>東松島市長として、2期目の任期スタートにあたる所信について伺う。</p> <p>(1) まちづくりの方向性4「災害に強く安全で快適で美しいまち」について</p> <p>①東日本大震災の発災から10年3か月が経過した。防潮堤や避難道路、排水機場など防災施設の整備が進められてきたが、改めて、これからの土砂災害対策も含めた様々な災害に強いまちづくりの具体策について伺う。</p> <p>②高齢者ドライバーの交通事故防止に自動車運転トレーニングアプリなどにより市民の意識向上と体制の充実を図るとあるが、最終的には運転免許証の自主返納を促すことも必要と考える。運転免許証を返納しても困らない環境づくりについて伺う。</p> <p>また、交通安全に向けたカーブミラーや信号機などの点検及び設置について伺う。</p> <p>③本市では、花の香るまちづくりや、地域一斉清掃など美しいまちづくり、環境美化に行政と市民が一丸となって取り組んでおり、大いに評価されるところである。一層の充実が望まれるところであるが考えは。</p> <p>④国は脱炭素社会の実現を目標に掲げているが、SDGs未来として選定された本市としても再生可能エネルギーの一層の活用などを推進していくべきと考えるが、これからの取組について。</p> <p>(2) まちづくりの方向性5「持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち」について</p> <p>①国及び県の財源を有効活用する考えの中で、鳴瀬地区が過疎地域指定されたが、関係する制度、メリットについて</p>

氏 名	件 名	要 旨
		<p>②職員の資質向上を図り、課長補佐・係長制のメリットを生かし、市民に分かりやすく、機動的・効率的な市役所体制の構築に努めるとの力強い考えを示されたが、理想とする体制の姿について何う。</p> <p>③友好都市各自治体との友好関係強化についての考えについて。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p data-bbox="177 365 276 405">第3位</p> <p data-bbox="209 465 244 663">自公・清風</p> <p data-bbox="209 757 244 831">代表</p> <p data-bbox="209 882 244 956">土井</p> <p data-bbox="209 1008 244 1081">光正</p>	<p data-bbox="312 365 549 548">1. 新型コロナウイルス感染症に係る対応について問う</p>	<p data-bbox="580 365 1423 696">新型コロナウイルス感染症の感染確認から1年6ヶ月が経過し、全国民が感染予防対策を講じながらも収束せず、逆に変異化し感染拡大の一途をたどっている。最後の切り札となるワクチン接種が本年5月から高齢者を対象に開始され、政府の見解では来年の2月までに全国民の接種が完了すると報道されている。これらを踏まえ、次の点について伺う。</p> <p data-bbox="596 757 1423 956">(1) ワクチン接種について、市長は64歳以下の市民は10月までに接種を完了できるよう調整するとしている。現在行っている65歳以上の接種を踏まえ、スムーズな申し込みができるようワクチン接種予約の体制強化と円滑な接種体制の構築を伺う。</p> <p data-bbox="596 1008 1423 1346">(2) 県は5月21日から飲食店の認証制度を実施した。市内の飲食店でも本制度の活用を検討しているとの声を聞く。今までとは違う「コロナ対策を万全にしているお店」でアピールし集客するものだが、「東松島市は、安心・安全な飲食店」のイメージをつくる絶好のチャンスでもある。本市としてもこの制度を強力で後押しする支援をすべきと考えるがいかがか。</p> <p data-bbox="1050 1509 1414 1547">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>自公・清風</p> <p>代表</p> <p>土井</p> <p>光正</p>	<p>2. 第2次総合計画後期基本計画の具現化を問う</p>	<p>本市では後期基本計画を職員によるインソーシングで策定し、地元地域を十分に熟知した職員の英知を集めた計画であると思われる。この計画の具現化にあたり、次の課題について伺う。</p> <p>(1) 人口減少に歯止めがかからない。本市では5月に東松島市地方創生・人口減少対策プロジェクトチームを立ち上げたが、目標の方向性は。</p> <p>(2) 災害の初期対応には建設業の機動力が重要となる。復興特需が終わり建設業界では今後、工事の受注減少により震災前の氷河期時代に入る。このことについてどのように対処すべきと考えるか。</p> <p>(3) 本市の主要な産業である農業及び漁業の後継者問題がクローズアップされている。持続可能な農業及び漁業を確立していくための考えは。</p> <p>(4) コロナ禍で人と人の交流もなくコミュニケーションが希薄になってしまった。ひとり暮らしの高齢者の孤独死も見受けられる。このことについての所見は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>自公・清風</p> <p>代表</p> <p>土井</p> <p>光正</p>	<p>3. 5つのまちづくりの方向性を問う</p>	<p>5つのまちづくりの方向性に沿った今年度の具体的な施策の取組について伺う。</p> <p>(1) 産業と活力のある住みたくなるまち 11月に総合的な「産業祭」を開催する計画があるが、コロナ禍の中でどのように開催し、成功に導いていくのか。</p> <p>(2) 子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち 東日本大震災から10年経ち、震災で肉親等や家屋を失い、やっとの思いで災害公営住宅に入居された方々からの話を伺うと、復興はまだまだ終わっていないと感じる。真に被災者一人一人に寄り添い続け、最後の一人まで人間の復興を成し遂げるために、次のことについて伺う。</p> <p>① 災害公営住宅入居者が同居家族等の状況から「高収入」と見なされ退去を迫られることがある。このため、新たな住居を検討する上で精神的に追い詰められている方も多し。早期に災害公営住宅の払い下げの方針を入居者に示すべきと考えるがいかがか。</p> <p>② 大曲浜地域から集団移転で災害公営住宅に入居している方の中には、移転元地の字名変更で土地を市に買収されたとはいえ故郷が無くなったようでさみしい、被災者の声も聞いて欲しかったと嘆いている方もいる。これは、事務手続きを1通の郵便物で処理したのが原因である。もっと被災者に寄り添った対応が必要ではなかったのかと考えるがいかがか。</p> <p>③ 大震災を風化させない取組として、語り部の活動は重要である。現在は民間等で自発的に行っているが、多くの方々に継続して伝えていくための運営の仕組みづくりや支援が必要であると考えがいかがか。</p>

氏 名	件 名	要 旨
		<p>(3) 次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち 学校の施設整備として大曲小学校改築工事設計を進めていくとあるが旧浜市小学校や旧野蒜小学校と同等の津波被災を受けた学校として、本来ならば、宮野森小学校や鳴瀬桜華小学校のように、復興事業として新築すべきものであったと考える。今回の設計にあたり、大曲小学校は地域の避難所として利用することになることから、防災拠点としての津波対策を含む基本的な設計方針及び工事計画について伺う。</p> <p>(4) 災害に強く安全で快適で美しいまち 災害はハード整備だけでは対応できない。防災体制と意識の充実のソフト整備も重要である。そのためのツールとして、内水の浸水を想定したハザードマップを早期に作成すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(5) 持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち 本年度、新たに鳴瀬地区が過疎地域に指定にされた。過疎地域自立促進特別措置法に基づく国の補助事業でどのような事業を具体的に検討していくのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

